

## ナシ黒星病の防除対策を行いましょ！

ナシ黒星病は春先に降雨が多く、低温の年には発生が多くなります。圃場をよく観察し、薬剤防除や耕種的防除を徹底することにより、ナシ黒星病の発生を抑制しましょう。昨年、黒星病の発生が多かった圃場では越冬伝染源が多く、発生が多くなると考えられますので、特に注意しましょう。

### 1 防除対策

#### ●薬剤防除

- 通風・採光を良くし、開花期前後に散布した薬剤が樹全体にかかるようにする。特に、圃場の周辺部など薬液のかかりにくい場所は丁寧に散布する。
- 黒星病は感染後、発病までに約15日間程度の潜伏期間があるため、常に発病状況を確認するとともに、防除を徹底する。
- 同一薬剤の連用はできるだけ避け、ローテーション散布を行う。

#### ●耕種的防除

- 圃場に残っている落葉は圃場外に持ち出し、埋設等適切に処分を行う。
- 病斑を見つけた場合は、直ちに除去し、同様に処分する。

### 2 主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
トレノックスフロアブル	500倍	200～700 L/10a	収穫30日前	5回以内
ベルコート水和剤	1500倍	200～700 L/10a	収穫14日前	5回以内
スコア顆粒水和剤	4000倍	200～700 L/10a	収穫14日前	3回以内



果そう基部病斑



葉部の病斑



☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt11p301.jsp>) を確認して下さい。